

(様式2)

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名	李 艶	所属	聖泉大学 人間学部
研究集会等名称	文化と心理学		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください) 会員 8名 (うち認定心理士 8名) 非会員 7名 (うち認定心理士 5名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください) 2016年度助成研究期間には、研究会3回、一般公開講演会は1回を開催した。 研究会の主要なテーマ： 「文化と自己」 「文化と感情について」 「文化と言語について」 「文化とアイデンティティについて」</p> <p>2016年一般公開講演会 (「文化と心理学研究会」通算第10回講演会の報告 この講演会は2016年12月24日に同志社大学にて開催され、二人の講師より二つのテーマについて講演をして頂いた。 テーマ1: 「ドイツ人と日本人のメンタリティー ～社会心理学からみる文化の違い～」 講演者は10年間ドイツでの研究活動を通じて、ドイツ人と日本人について、社会心理学視点からメンタリティーを話されました。講演は研究データ、写真、動画を交えて、聴講者からいい「内容が面白くわかりやすかった」「リアル的にドイツ人のことを紹介して頂いてよかった」などのコメントを頂いた。 テーマ2: 「ゴスペルのクリスマスソングの紹介」 講演はレバノー人で長年日本に在住されており、いくつかの大学において、英語や欧米文化 (異文化理解) について授業をされました。イブの日に同志社大学のキャンパスから聴講者が多く、「ゴスペルのクリスマスソングの紹介」が人気を集めた。 本研究会では、心理学の各分野の研究者を交えて、文化と心理についての関連について、研究会・公開講演会にて成果を披露した。 今後、今までの研究成果を纏め、次年度の研究会の企画を立てて、取り組みの準備を進む。今後の研究予定としては、介護・保険・健康にかかわる比較心理学について取り組んでいく。</p>		

研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
(文化と心理学研究会)				
研究集会開催日： 2016 年12 月 24 日(土)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	李艶	聖泉大学 教授	○	
2	大日方重利	静岡産業大学 経営学部 教授	○	
3	藤重 育子	愛知東邦大学 助教	○	
4	村田 州央	大阪市公立中学校教育支援相談員		
5	林祥偉	立命館大学大学院博士課程後期課程		
6	坂下由華	同志社大学		
7	田中美帆	同志社大学		
8	入邊敦子			
9	趙亮	立命館大学大学院博士課程前期課程		
10	坂英里香	同志社大学		
11	矢追麻佑子	同志社大学		
12	小島彩加	同志社大学		
13	菅野瑤子	同志社大学		
14	福田円香	同志社大学		
15	磯部厚子	聖泉大学 教授		
16	宍倉由高	株式会社 ナカニシヤ出版		
17	安い勝	立命館大学		
18	藤田依久子	安田女子大学	○	
19	中本初花	安田女子大学		
20				
21				
22				
23				
24				
25				

2017年 3 月22日

日本心理学会研究会 2016 年度会計報告書

研究会名称 文化と心理学研究会 (李 豊 文 表)

研究会番号 研 16004

助成金額 ¥30,000

年月日	項目	金額
2016年12月24日	講師謝礼と交通費 (講演会) (2名)	¥35,000

合計 35,000